

## 1. 目的

- 外部専門家により、OISTの教育研究機関としてのパフォーマンスを客観的に評価し、世界最高水準という目標達成に役立てる。

## 2. メンバー

- 評価委員会は、ノーベル賞受賞者2名を含む12名（うち日本人1名）で構成。  
議長は、オラフ・キュブラー教授（スイス連邦チューリッヒ校元学長）（別添参照）

## 3. 評価項目

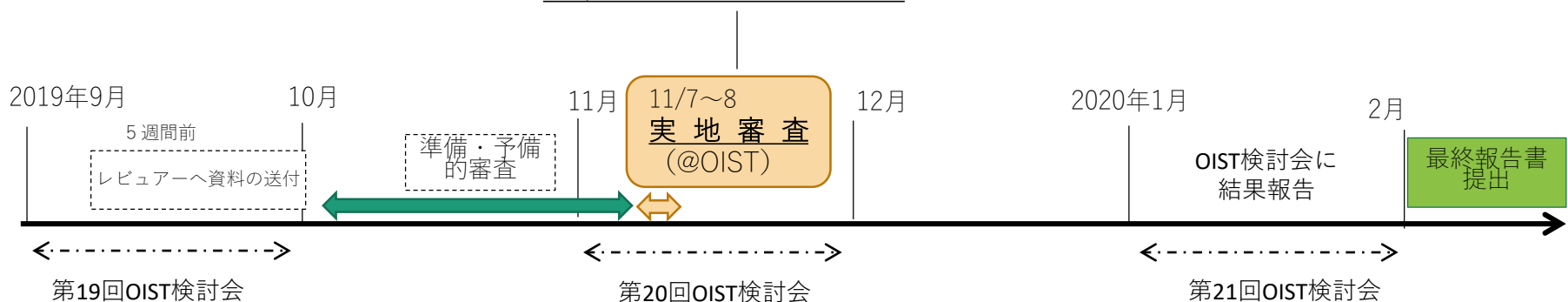
- 教育、研究、イノベーション、組織運営、コミュニティへのアウトリーチ活動等、多岐にわたり、詳細な外部評価を実施する予定。

## 4. OIST検討会の関与

- OISTからの依頼を受け、11月に行われるピアレビューの現地審査に、相澤座長がオブザーバー参加する予定。結果については、2020年1月に予定する会議において、OISTより報告される予定。

## 5. スケジュール（イメージ）

OIST検討会より  
相澤座長がオブザーバー参加



# (別添)

名前	役職等
議長：オラフ・キュブラー教授	スイス連邦工科大学 チューリッヒ校元学長
デビッド・ボルティモア教授*	カリフォルニア工科大学生物学教授
ピーター・チェン教授	スイス連邦工科大学チューリッヒ校物理有機化学正教授
アーサー・エカート教授	オックスフォード大学数学研究所量子物理学教授
クラウディア・フェルサー教授	マックス・プランク固体化学物理研究所所長
マーティン・グロチェル教授	ベルリン・ブランデンブルク科学・人文 科学アカデミー(BBAW) 会長
川合眞紀教授	日本化学会会長
スチュアート・パーキン教授	マックス・プランク微細構造物理学 研究所所長
ロバート・ペリッヒ博士	スイス連邦工科大学チューリッヒ校副学長 (財務担当)
フィリップ・シャープ教授*	マサチューセッツ工科大学センター所長
施春風 (シチュンフォン) 教授	シンガポール国立大学(NUS)教授・KAUST元学長
シャーリー・ティルマン教授	プリンストン大学元学長アメリカ細胞生物学会元会長

\* 印はノーベル賞受賞者